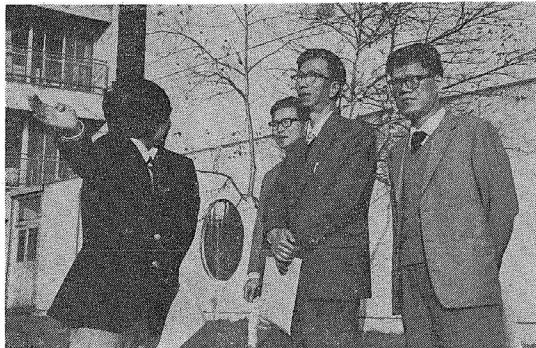


# 日中交流事業の発展を目指して

大型訪中団を派遣・中華全国青年連合会より招へい



通訳の中堀君より説明を受ける王氏（右側から2人目）と周氏（赤城青年の家で）

本連盟として初めての中華全国青年連合会の代表二名の受け入れを実現し、中国との「相互交流」のスタートを切った。この受け入れ成功を受け、一月一五日から一〇日間、鳩山邦夫相談役（衆議院議員）を団長とする大型使節団が派遣される。

この第二次日中友好親善友愛青年使節団には、田中恭一委員長、萩原直三副委員長、丹羽恵造議長らが同行し、同連合会本部のある北京をはじめ、上海、蘇州および杭州を訪問して各地で青年団体と交流すると共に、両団体間の来年度の事業として研修生の受け入れ、使節団派遣および代表受け入れ等の計画について協議する。

〔関連記事一面〕

（略称・全国青連）の受け入れに

よる訪中した。

第1次訪中団（团长・深津良一副会長）は、両団体の交換を、

志向の相違によるものであつた。その際、中日友好協会との間で、本連盟と中国青年との定期交換を行つて貰うことを、それを受けて、一九八〇年一月、第二次使節団である中華全国青年連合会の統合開催で、中国唯の青年団体の統合組織である中華全国青年連合会である。

（友愛訪中団）

本連盟が最初に中国への使節団を派遣したのは、一九七八年一〇月で、この開催は日友好協会（慶應義塾大学）の主導によるものであつた。その後、中日友好協会との間で、本連盟と中国青年との定期交換を行つて貰うことを、それを受けて、一九八〇年一月、第二次使節団である中華全国青年連合会の統合開催で、中国唯の青年団体の統合組織である中華全国青年連合会である。

（略称・全国青連）の受け入れに

よる訪中した。

第1次訪中団は、本連盟と全国青連の来年度事業を定期的に行なう。

（略称・全国青連）の受け入れに

よる訪中した。

（略称・全国青連）の受け入れに

